

# 火の用心！一人ひとりの心がけ

これから寒くなり、空気が乾燥してくると火事が多くなってきました。編集会議でこの地域で最近火災が多い事が話題になり、今年の8月にオープンした入間東部地区消防組合消防本部・西消防署を訪れ、新設された防災館を見学し、防火について勉強してきました。

## 火災の原因

### うっかり、ぼんやり、無関心



平成24年中の入間東部地区消防組合管内(富士見市・ふじみ野市・三芳町)での火災発生件数は57件(うち富士見市内は27件)です。今年は、8月末現在です。62件(富士見市内31件)と火災発生件数が増えています。

その原因として一番多いのが放火、二番目が台所のコンロです。その予防対策としては、普段から家の周りやコンロ周りを整理整頓して、燃えやすいものを置かないことが大事です。また火を使っている時は火元から離れないで、ほかのことに注意をそらさないことが大切です。天井を揚がっている最中に来客があったら、電話がかかってきた等でついうっかり…とヒヤリとした経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。万が一、火事にあつた時は左のイラストの三つの行動をすばやく分担、連携して行動することが大事のお話でした。



※次号では、万が一の備えのための住宅用火災警報器や消火器、また防災館見学記について特集します。

資料：「住宅防火と安全な暮らし」より  
財団法人 日本防火研究普及協会発行

## もし火事になったら 小さな遠慮 大きな損害！



### ① 大声で知らせる!



### ② 初期消火



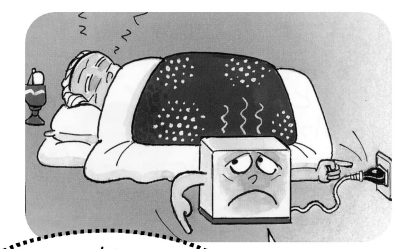
### ③ 避難



① 大声で早く知らせる  
早く隣近所に知らせます。  
声が出ないときは、やかんや鍋など音の出るものをたたきます。

② 初期消火  
消火器などを使って消火します。  
逃げ遅れた人がいないことを確認します。  
日ごろからの訓練が大事です。

③ 避難・誘導  
天井まで火が燃え広がったら消火は困難。  
無理せず早めに逃げます。  
姿勢を低くして煙を吸い込まないように！



ストーブのつけっぱなし、寝たばこは絶対ダメ！

コンロやストーブのそばに燃えやすいものを置いていませんか？



つい話に夢中になって、天ぷら鍋をコンロにかけたのを忘れていませんか？